

取組事例
施策 6

道路施設の適正な維持管理



① 取組事例

道路施設の日常的な維持管理の適切な実施

草刈や除雪などの日常的な維持管理を適切に実施し、地域住民の生活を守ります。アダプト活動等により地域全体で道路環境の保全と創造を図ります。



道路延長は県全体で約4,200kmにも及びます。これらの道路を日々パトロールすることにより、倒木や落石などの異常を早期に発見し、対応することで交通の安全確保に努めます。また、年間を通して、草刈や、除雪等を適切に実施し、道路の維持管理を行っています。



道路パトロール



舗装の補修



除雪

冬

春

秋

夏



側溝の清掃



草刈



落石の撤去



倒木の撤去

アダプト活動～地域と共同で行う道路環境の保全～

春になると、東広島・呉自動車道の郷原に近く、県道沿いに、1km以上にわたって、見事なシバザクラのじゅうたんが広がります。

これは、平成24年から地元のアダプト団体「郷原フロックロード」により実施されている活動で、地元の小学校とも連携し、清掃やシバザクラの育成など、道路の美装に取り組んでいただいております。



満開のシバザクラ



除草作業



アダプト団体と地元小学校とのシバザクラの植え付け



橋梁やトンネルなどの道路施設について、点検結果に基づき適切な対策を行うことで、長寿命化を図り、県民が安心かつ快適に道路を利用できる環境を整えます。

A. (国) 186号 翠橋 (大竹市油見3丁目)



翠橋は、島根県江津市から広島県大竹市を結ぶ国道186号上の橋梁であり、JR山陽本線を跨ぐ跨線橋で、災害時の緊急輸送道路に位置付けられています。令和3年度以降、耐震補強工事を実施するとともに、上部工の塗装劣化等の損傷について、補修工事を実施します。

橋梁概要

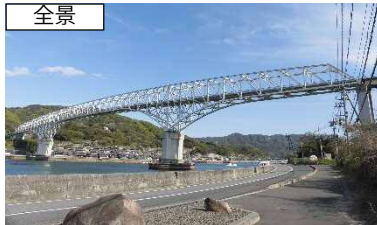
架設年度	昭和42年(1967年)
橋長	130m
幅員	9.6m
形式	桁橋 桁(合成)



主桁の塗装劣化

B. (国) 487号 早瀬大橋 (呉市音戸町早瀬～江田島市大柿町大君)

早瀬大橋は、呉市音戸町と江田島市大柿町を結ぶ渡海橋で、災害時の緊急輸送道路に位置付けられており、これまで橋脚の耐震補強工事や補修工事を実施してきました。今後は、引き続き、橋脚や支承の耐震補強工事を実施するとともに、上部工の塗装劣化等の損傷について、補修工事や補強工事等を実施します。



橋梁概要

架設年度	昭和48年(1973年)
橋長	623.5m
幅員	10.1m
形式	3径間連続トラス橋(渡海部)



橋脚耐震補強工事状況



上部工の塗装劣化



橋面補修後

C. (国) 317号 尾道大橋 (尾道市尾崎町～尾道市向島町(尾道水道))



尾道大橋は、尾道市尾道本町と向島町を結ぶ渡海橋で、災害時の緊急輸送道路に位置付けられています。これまで、桁や主塔の塗替えなどの補修工事を実施してきており、今後は、ケーブルの補修工事などを実施します。

橋梁概要

架設年度	昭和43年(1968年)
橋長	386.45m
最大支間長	215.0m
上部工形式	3径間連続鋼床版 2主桁斜張橋
有効幅員	8.0m



上部工の塗装劣化



塗装塗替後